

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【公開番号】特開2012-253479(P2012-253479A)

【公開日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-054

【出願番号】特願2011-123168(P2011-123168)

【国際特許分類】

H 04 N 1/04 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

H 04 N 1/00 (2006.01)

G 03 B 27/50 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/04 1 0 6 A

G 06 T 1/00 4 5 0 B

H 04 N 1/00 1 0 8 M

G 03 B 27/50 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月30日(2014.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景との境界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第1の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含まない場合、前記第1の傾き補正手段による補正を実行させ、複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合は、前記第1の傾き補正手段による補正を実行させないように切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

【請求項2】

搬送される原稿の傾きを機械的に補正する第2の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合は、前記第2の傾き補正手段で補正し、複数の前記原稿が複数種類のサイズを含まない場合は、前記第2の傾き補正手段による補正を実行しないように切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

【請求項3】

原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景との境界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第1の傾き補正手段と、

搬送される前記原稿の傾きを機械的に補正する第2の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合、前記第1の傾き補正手段を前記第2の傾き補正手段に切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

【請求項4】

操作部をさらに有し、

前記切替手段は、前記操作部において予め定めた操作がされた場合に、複数の前記原稿が複数種類のサイズから構成されると判断する請求項1-3のいずれか1項に記載の画像読取装置。

【請求項5】

前記原稿の搬送方向に対する原稿の幅を読み取る検知部をさらに有し、
前記切替手段は、前記検知部の検出内容に基づいて複数の前記原稿が複数種類のサイズ
を含むと判断する請求項1 - 3のいずれか1項に記載の画像読取装置。

【請求項 6】

原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景との境
界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第1の傾き補正手段と、

搬送される前記原稿の傾きを機械的に補正する第2の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合、前記第1の傾き補正手段を前記第2の
傾き補正手段に切り替える切替手段と

前記第1の傾き補正手段が傾き補正した読取画像又は前記第2の傾き補正手段によって
傾き補正された原稿を前記読取部によって読み取られた読取画像に基づいて用紙に画像を
形成する画像形成部とを有する画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

[1] 原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景と
の境界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第1の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含まない場合、前記第1の傾き補正手段による補
正を実行させ、複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合は、前記第1の傾き補正手
段による補正を実行させないように切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

[2] 搬送される原稿の傾きを機械的に補正する第2の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合は、前記第2の傾き補正手段で補正し、
複数の前記原稿が複数種類のサイズを含まない場合は、前記第2の傾き補正手段による補
正を実行しないように切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

[3] 原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景と
の境界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第1の傾き補正手段と、

搬送される前記原稿の傾きを機械的に補正する第2の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合、前記第1の傾き補正手段を前記第2の
傾き補正手段に切り替える切替手段とを有する画像読取装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[4] 操作部をさらに有し、

前記切替手段は、前記操作部において予め定めた操作がされた場合に、複数の前記原稿
が複数種類のサイズから構成されると判断する前記[u]1 - 3[/u]のいずれかに記載の画像
読取装置。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

[5] 前記原稿の搬送方向に対する原稿の幅を読み取る検知部をさらに有し、

前記切替手段は、前記検知部の検出内容に基づいて複数の前記原稿が複数種類のサイズ

を含むと判断する前記〔1〕 - 〔3〕のいずれかに記載の画像読取装置。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

[6]原稿に光を照射しその反射光から前記原稿と前記原稿以外の領域に対応する背景との境界を読み取り、原稿の画像の傾きを補正する第1の傾き補正手段と、

搬送される前記原稿の傾きを機械的に補正する第2の傾き補正手段と、

複数の前記原稿が複数種類のサイズを含む場合、前記第1の傾き補正手段を前記第2の傾き補正手段に切り替える切替手段と

前記第1の傾き補正手段が傾き補正した読取画像又は前記第2の傾き補正手段によって傾き補正された原稿を前記読取部によって読み取られた読取画像に基づいて用紙に画像を形成する画像形成部とを有する画像形成装置。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1、2、3又は6に係る発明によれば、搬送される原稿のサイズが複数の種類混合されている場合にも傾き補正を実行する画像読取装置及び画像形成装置を提供することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項4に係る発明によれば、操作部において予め定めた操作がされた場合に原稿が複数のサイズから構成されると判断することができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項5に係る発明によれば、検知部の検出内容に基づいて原稿が複数のサイズから構成されると判断することができる。